



歴史的経緯を持つIPアドレスの 割当先明確化について

使用されていない歴史的PIアドレスの回収前の手続きについて

(社) 日本ネットワークインフォメーションセンター
IP事業部 佐藤香奈枝




経緯

- 割り当て先明確化推進(電子メール・郵送)
- これまでに歴史的PIアドレス全体の64.1%
は手続き完了
 - IPアドレス数ベースでは82.6%
- 前回、第10回JPOPMで、使用されておらず、
連絡のつかない歴史的PIアドレスの回収
を提案し、事前に回収前の手続きを再度
議論することを課題としていただいた

提案の概要

- 割り当て先明確化のための連絡手段を提示
- 連絡の実施による回収対象確定

歴史的PIアドレス割り当て先への 連絡手段

- 電話連絡 (JPNIC DB登録情報を元に)

- 電話連絡 (Web等で一般に公開されている情報を元に)

- 割り当て先組織の関係組織への問い合わせ

- 登記簿謄本情報の確認

その他、合理的な範囲で取りうる手段があれば実施

影響

歴史的PIアドレス割り当て先組織

- 引き続きアドレスを使用するための手続きが完了していない場合、JPNICから電話等での連絡を受ける
- 経路広告をしておらず、今後当該アドレスを使用する旨の意思表示をしない場合、アドレスを回収される

歴史的PIアドレス割り当て先組織の関連組織

- 割り当て先組織に連絡が付かないときに、問い合わせを受ける場合がある

ISPなど

- 本件について問い合わせ等を受ける可能性がある

JPNIC

- 調査、連絡、回収の実施等の作業が発生

実施スケジュール(案)

2004年7月	割り当て先明確化・認証強化についてコンセンサス
2004年12月～	割り当て先明確化・認証強化推進
2006年7月	使用されていないアドレスの回収についてコンセンサス
2006年12月	第11回JPOPM回収前の手続きを提案
～2007年6月	各種連絡を継続し、歴史的PIアドレスの割り当て先組織明確化を推進
	回収対象アドレスを確定
2007年7月頃(予定)	JPOPMにて結果報告
2007年7月以降	アドレス回収プロセス

歴史的PIアドレス割り当て先への 連絡(まとめ)

2004年12月～

電子メール

書面

電話連絡

(関係組織経由での連絡)

連絡の付かないものを回収対象に

連絡先の情報源として使用するもの

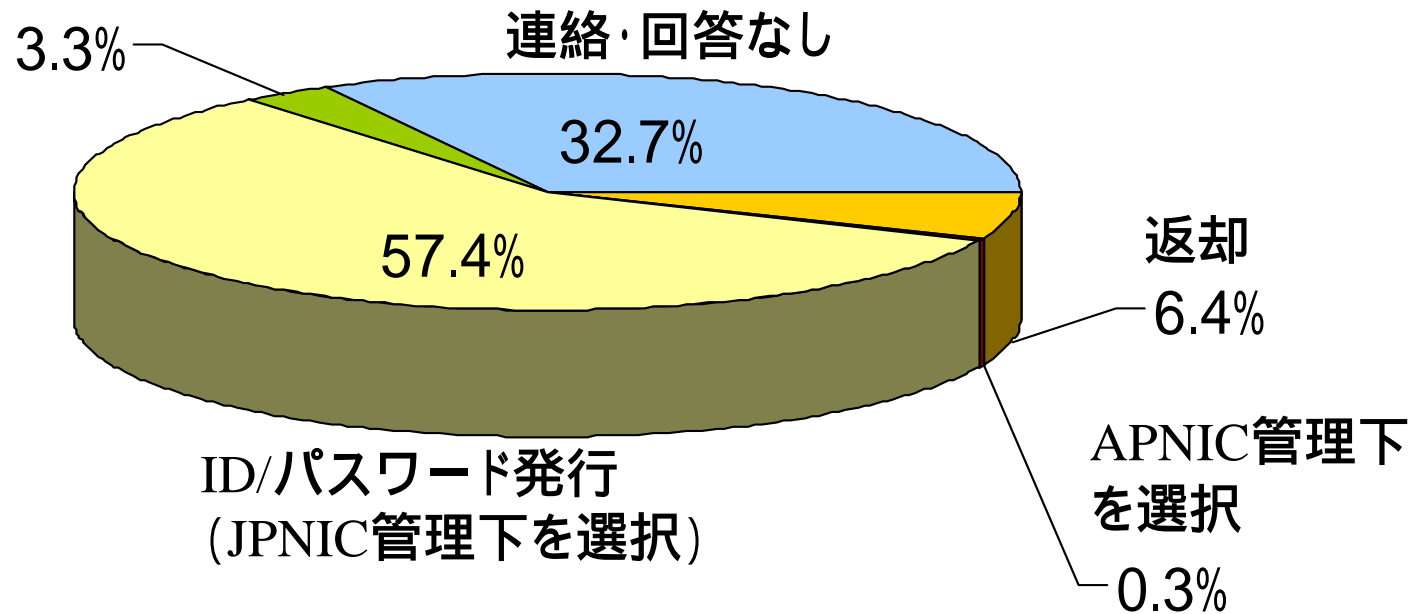
- JPNIC DB 登録情報
- Web等で一般に公開されている情報
- 関係組織より得た情報
- 登記簿謄本



参考情報

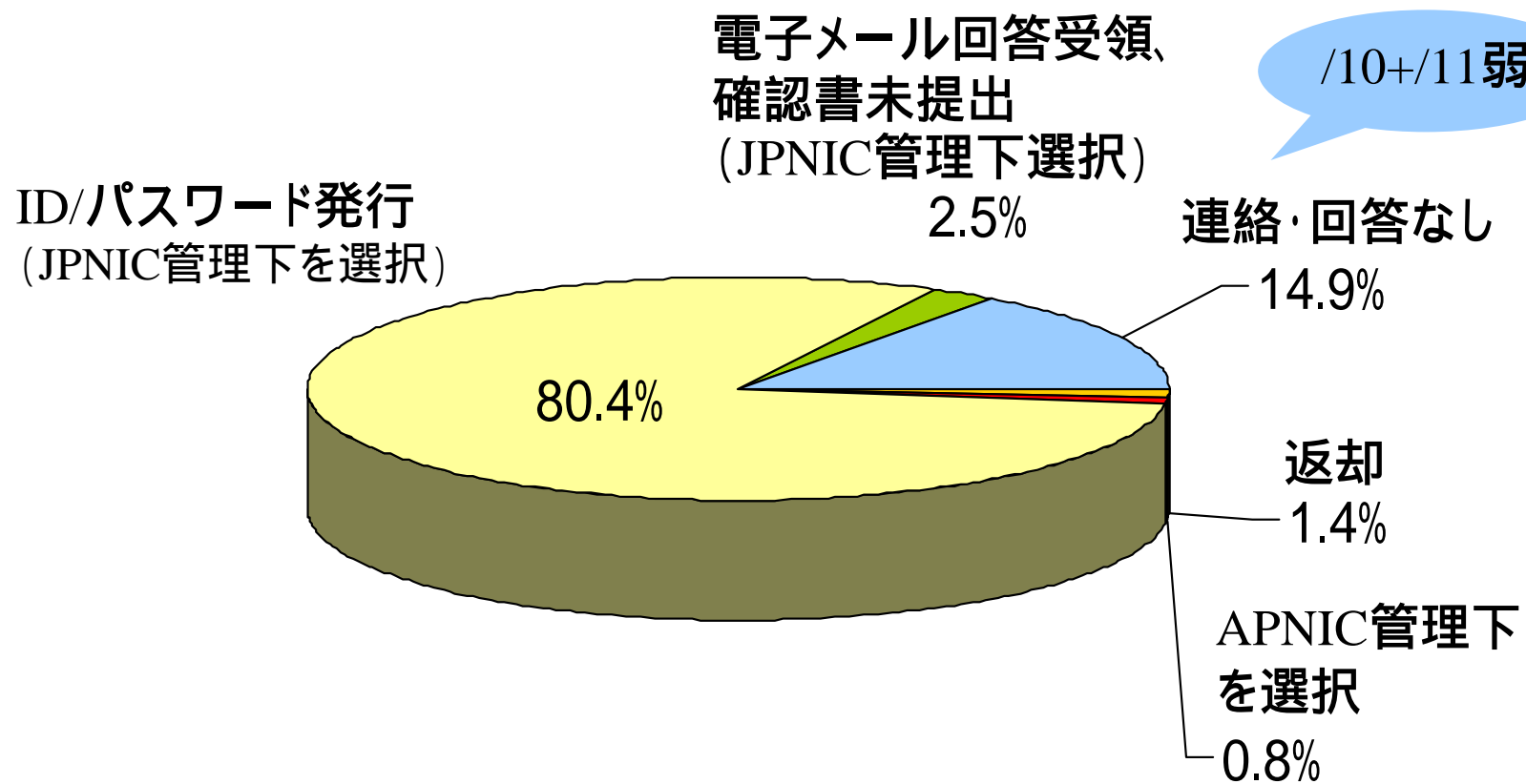
手続き進捗状況 (NW情報ベース)

電子メール回答受領、
 確認書未提出
 (JPNIC管理下選択)



- 2006年11月20日現在
- 100% = 歴史的PIアドレスネットワーク情報総数3045件

手続き進捗状況 (アドレス数ベース)



- 2006年11月20日現在
- 100% = 歴史的PIアドレス総数/7強 (旧クラスA x 2個強)

Q&A



歴史的PIアドレスに関するご連絡・お問い合わせ

hr@nic.ad.jp